

## 道路占有物件との重複工事について

(社)北海道土木施工管理技士会  
川田工業株式会社 土木舗装部  
工事長

森 口 耕 次

### 1. はじめに

当工事は北海道上士幌町から十勝連峰の麓の糠平温泉を経由して旭川方面へ続く国道273号の起点に位置します（図-1）。工事内容は既存の歩道部の拡幅および車道のオーバーレイ工事です。

歩道部の拡幅に伴い、占用物件の上・下水道工事及び電線柱の移設工事が同時に発注されました。占用物件の施工位置が当工事で行う歩道拡幅部内に収まるため、狭い工事区間でいかに効率よく、且つ無事故で行うかが重要課題となります。



図-1 現場位置図

### 工事概要

工事名 : 一般国道273号上士幌町

上士幌歩道拡幅工事

発注者 : 帯広開発建設部

工事場所 : 北海道河東郡上士幌町

工期 : 平成18年7月24日～

平成19年1月31日

### 工事数量

道路土工	土砂掘削	970m <sup>3</sup>
排水工	縦断管渠	470m
	I型マンホール	16基
構造物撤去工	舗装取壊工	1,463m <sup>2</sup>
	コンクリート撤去	148m <sup>3</sup>
路盤工	下層路盤	781m <sup>2</sup>
	凍上抑制層	669m <sup>2</sup>
	歩道路盤	1,532m <sup>2</sup>
舗装工	表層	2,530m <sup>2</sup>
	基層	2,492m <sup>2</sup>
	中間層	1,520m <sup>2</sup>
	上層路盤	356m <sup>2</sup>
	歩道表層	1,520m <sup>2</sup>
縁石工	I型縁石	472m
区画線工		1式
情報ボックス工	情報管路	728m
	ハンドホール	1基

## 2. 現場における課題・問題点

### (1) 現場における課題

工事区間延長244m内に当社の外に、上水道業者（占有業者）2社、下水道業者（同）2社、電気線移設工事業者（同）1社、電話線移設工事業者（同）1社が施工を行います。

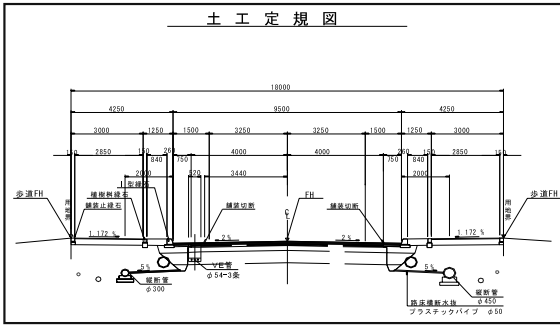


図-2 土工定規図

各施工業者が同時期に施工すると、現場内が大変混雑するとともに、安全施工にも多大な影響が生ずるおそれと考えられます。

これらの事態を未然に防ぐため、各社参加の協議会を設立し、各社の意向を取り入れながら協議を行いました。

安全に且つ早期完成を第一とした工事施工を行うこと、各社の意向を尊重した工程・施工順序の調整を行い、全体工程表を作成し、了承を得て工事着手となりました。

表-1 全体工程表

工 程 表		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
上水道	改修・埋設												
下水道	埋設												
電気	埋設												
電話	埋設												
その他													

### (2) 現場における問題点

工事施工当初は占有業者各社とも順調に施工を進めていましたが、1社が都合で半月程度現場施工を遅延することになり、次の問題点が発生しました。

- ① 他社の工程が遅れると当社の工事が工期内に完成できない。
- ② 上水道工事の工程に影響が生じる。仮水道を地上で各地先に供給しているため、時期が遅れば凍結の恐れがある。
- ③ 地先に工程の遅れを説明し、理解と協力を再度得なければならない。特に商店は営業に支障が生じるため十分な説明と理解・協力を得るようしなければならない。

## 3. 現場における対策・対応

### (1) 対策・対応

問題点の対策・対応を見いだすため、協議会により各社の意見・意向を集約し次の対策を得ました。

- ① 監督員に当社の工程表（工期延長工程）及び占有業者を含めた工程表を提出し、占有業者の監督員を含めて協議を行った。
- ② 当社及び上・下水道工事は、施工可能な箇所から行い特に上水道工事は凍結時期前に完了させる。
- ③ 地先には個別に当社を含め各業者が説明を行い、理解と協力をお願いする。特に商店は営業の支障にならないよう各社が創意工夫して対応する。

以上を協議会で確認し実施することにしました。



写真-1 監督員・占用業者との協議会

#### 4. 対策・対応結果

当社の工期を1ヶ月間延長し、さらに施工期間中の10月に2週間施工を中止した。その工事中止期間

中に占用業者の施工を進めて上水道業者が凍結時期前に施工を完了することができました。

また、各業者が誠意をもって対応したことで、地先住民・商店の方に理解と協力を得ることができました。そして、すべての業者が12月末に安全且つ無事故で工事を完了することができました。

#### 5. 終わりに

市街地における占用業者との重複工事では、各業者との施工・工程調整が重要となります。各業者が独自に施工を行うと後に収拾がつかなくなり、安全管理も無視されてしまう恐れがあります。十分に協議を行い、最前の方法を見いだすことが大切です。

今回の工事ではそのことを特に強く感じました。